

带状疱疹ワクチンの説明書

商品名: シングリックス(乾燥組み換え带状疱疹ワクチン)

■ 带状疱疹について

水痘・带状疱疹ウイルスによる感染症です。小児期の初感染では水痘を起こし、通常は自然によくなります。しかしながら、ウイルスは神経節に潜んでおり、加齢などで免疫力が低下した際に、再び活性化し神経に沿った帯状の疱疹を起こします。50歳以上で頻度が高くなります。後遺症として带状疱疹後痛があります。水疱には多量のウイルスが含まれており、接触や空気感染でヒトからヒトに伝染します。

■ 診断と治療

- ・症状(ヒリヒリ感や痛み)と皮疹(発赤、水疱、かさぶた)で、専ら臨床的に診断します。
- ・抗ウイルス薬の内服、点滴、塗布が治療です。

■ 予防方法

- ・50歳以上で水痘生ワクチンを1回接種する。
- ・50歳以上または、带状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の希望者に対してシングリックスを2回接種する。
- ・带状疱疹患者のケアをする場合は、手袋を使用する。
- ・小児期に水痘ワクチンを2回接種する。2014年10月から2回の定期接種となっています。

■ ワクチン接種対象者

- 1)50歳以上の希望者
- 2)带状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の希望者
 - 2-1)疾病又は治療により免疫不全である者、免疫機能が低下した者又は免疫機能が低下する可能性がある者。
 - 2-2)上記以外で、医師が本剤の接種を必要と認めた者。
- 3)注記: 当外来は渡航を目的としない依頼者に「シングリックス」の接種対応を行いません。

■ ワクチンについて

- ・带状疱疹ワクチン(乾燥組み換え带状疱疹ワクチン)は国内ワクチンです。
- ・带状疱疹不活化ワクチン「シングリックス」の取り扱いを2024年4月から開始しました。
- ・50歳以上: 0.5mlを2回、通常2ヶ月(最大6ヶ月)の間隔をおいて、筋肉内に接種する。
- ・リスクが高い18歳以上: 短縮するメリットがある場合は2回目を1ヶ月後に短縮できる。

| | シングリックス(国内ワクチン) |
|--------|----------------------|
| 【製造会社】 | グラクソ・スミスクライン株式会社 |
| 【適応年齢】 | 50歳以上。または18歳以上(上記参照) |
| 【接種回数】 | 2回(上記参照)。 |
| 【接種方法】 | 筋肉注射。 |
| 【持続期間】 | 10年以上。 |

■ 副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。約8割の人に疼痛、約3割~4割の人に発赤・腫脹・頭痛・筋肉痛・疲労感を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

■ 注意事項

過去に同ワクチンにアレルギーのある方、妊娠・授乳中、発熱している方は接種できません。

■ 健康被害が生じた場合

PMDAによる公的救済制度の適応です。発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。